



森とレジリエンス 屋久島編2023

～モニタープログラム～

レジリエンスを五感で学ぶSDGs フィールドワーク

2023. 9. 28 - 10. 1



GLOBAL COMMUNITY
RESILIENCE CENTER


<https://gcr.or.jp>



Green
School
Yakushima


<https://greenschool-yakushima.com>

一般社団法人地球社会レジリエンスセンター (Global Community Resilience Center) & 一般社団法人 GreenSchool Yakushima 協働企画

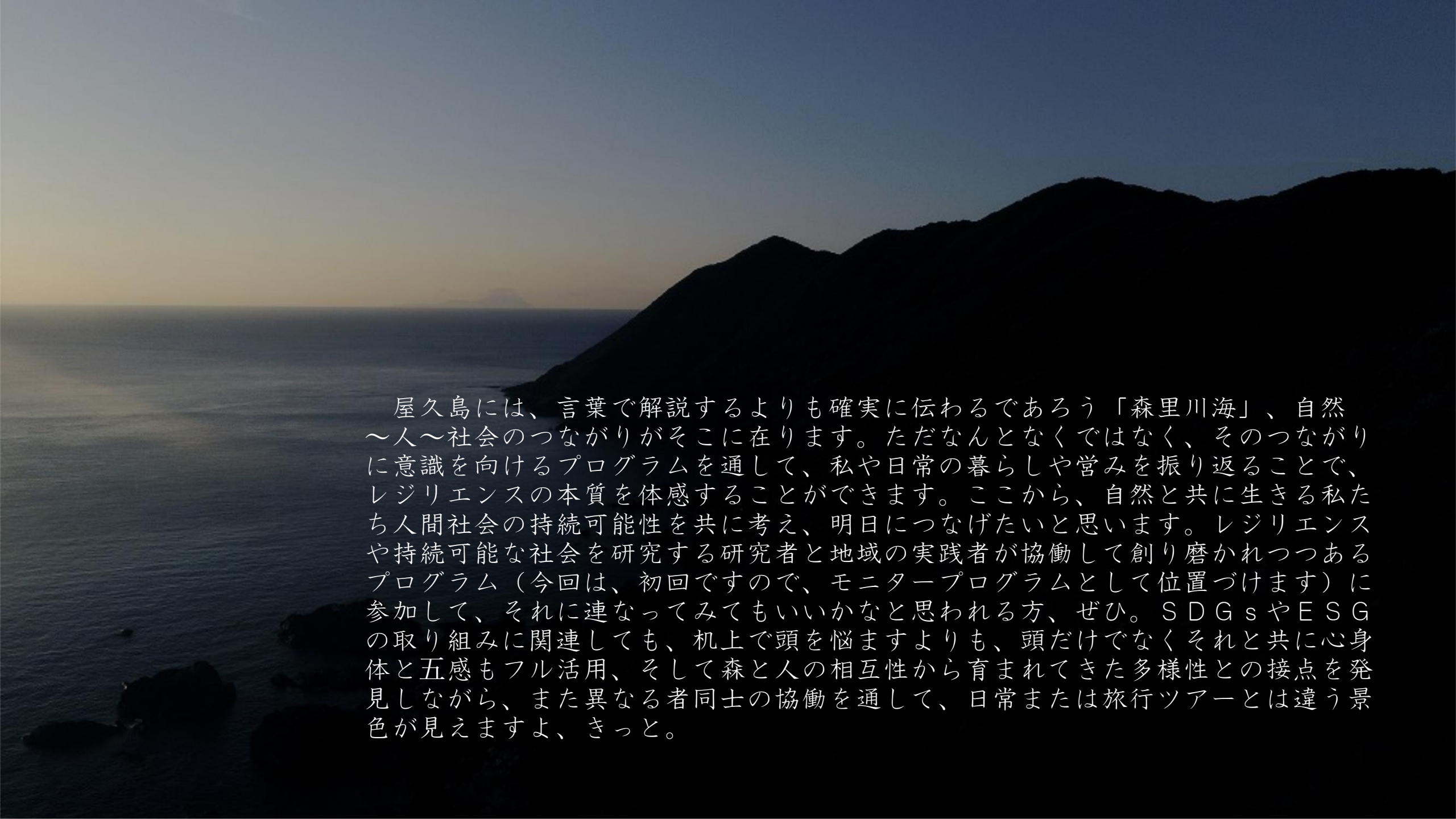
A blue-tinted photograph of a forest scene. In the foreground, a branch with several green leaves is visible, with several clear raindrops resting on it. In the mid-ground, a fern frond is prominently displayed, its intricate leaf structure clearly visible. The background is a soft, out-of-focus forest with various shades of green and blue, suggesting a dense canopy. The overall mood is serene and natural.

木を見て森も見て、
隙間をデザイン。



A misty mountain landscape with a blue color palette. The mountains are layered, creating a sense of depth and atmosphere. The text is overlaid on the lower right portion of the image.

このプログラムは、京都大学で実施してきたSDGsとレジリエンス思考に関わるプログラム（屋久島における「木を見て森も見る」SDGs思考養成実践モデル事業 / 文科省2020年度SDGs達成の担い手育成（ESD）推進事業）を、一般的な文脈に落としこんでアップデートし、幅広い方々に、屋久島を舞台に「自然～人間～社会の関係性」、自然～人間～地域（コミュニティ）の中に宿る「レジリエンス」を体感し、自然と共生する持続可能な社会のための「つながり」の再生を念頭に、みなさまの暮らしや仕事場に活かしていただきたいという思いから生まれました。



屋久島には、言葉で解説するよりも確実に伝わるであろう「森里川海」、自然～人～社会のつながりがそこに在ります。ただなんとなくではなく、そのつながりに意識を向けるプログラムを通して、私や日常の暮らしや営みを振り返ることで、レジリエンスの本質を体感することができます。ここから、自然と共に生きる私たち人間社会の持続可能性を共に考え、明日につなげたいと思います。レジリエンスや持続可能な社会を研究する研究者と地域の実践者が協働して創り磨かれつつあるプログラム（今回は、初回ですので、モニタープログラムとして位置づけます）に参加して、それに連なってみてもいいかなと思われる方、ぜひ。SDGsやESGの取り組みに関連しても、机上で頭を悩ますよりも、頭だけでなくそれと共に心身体と五感もフル活用、そして森と人の相互性から育まれてきた多様性との接点を発見しながら、また異なる者同士の協働を通して、日常または旅行ツアーとは違う景色が見えますよ、きっと。

【日程】2023年9月28日（木）～10月1日（日）＜3泊4日＞

【主催】 一社）地球社会レジリエンスセンター、一社）GreenSchool Yakushima

【対象】 企業人・団体職員・学校/自治体関係者でSDGsやESGの本質から見直し、

次につなげたい方々、又はご自身の暮らしと地域のつながりについて、本質から見直し、次につなげたい方々

【参加費】 11万円（税込）

※宿泊費（こちらでまとめて手配します）および渡航費（ご自身で屋久島空港までご手配ください）は別途

【申し込み】 参加ご希望の方は、お名前、お電話番号、住所、メールアドレス、ご所属（ある方のみ）を書いて、

メールタイトルに【森とレジリエンス屋久島参加希望】と記載し、一社）地球社会レジリエンスセンターの窓口：

contact@gcrc.or.jpまでお申し込みください。こちらから確認メールをお送りする際に、参加費の入金方法や注意事項等をお知らせいたします。

【締め切り】 8月15日（この時点で空きがあれば、締め切り日を延長します、詳細はその時点でアナウンスします）

【キャンセル料】 8月20日まで50%、8月21日以降100%

【定員】 15名程度（最少催行人数：5人以上 ※最少催行人数（入金済み）に達したときに催行決定になります。

※1）万が一既に入金していただいて、最少催行人数に達しない場合速やかに全額をご返金いたします。一方15人以上に達し次第、締め切り日を待たず申し込み終了となりますので、早めのお申込みをお勧めします。

※2）飛行機でお越しの場合、9月28日中に屋久島空港に到着する便であればどの便でも結構です。もちろん鹿児島から船でお越しになられても大丈夫です。

1日目は午後からプログラム開始ですが、途中参加も可能です。午前中に来島された方は、空港でも港でもお迎えに上がります（午前中に来られることをお勧めします）。最終日は午後離島をお勧めしますが、午前中の便でも結構です。

※3）その他参加決定にあたって、ご不明点、ご質問ありましたら、一社）地球社会レジリエンスセンターの窓口アドレス、contact@gcrc.or.jp までご連絡ください。





A photograph of a person's arms wrapped around a tree trunk in a lush forest. The person is wearing a light-colored long-sleeved shirt. The background is filled with green foliage and sunlight filtering through the trees.

1日目：「森と人の相互性1～森の中で体感するレジリエンス～」9/28 一起

13:00 GreenSchoolYakushima事務所 集合

オリエンテーション+レクチャー：森と人の相互性とレジリエンス1

14:30 移動

15:30 白谷雲水峡 着 森歩き～自身の内と外～

17:00 移動

18:00 GreenSchoolYakushima事務所着 対話：「森と風景に映る私」

18:30 食事会

20:30 解散 /お宿へ各自徒歩にて移動予定

※ 宿：空港周辺を予定しています。

※ 午前中に来島された方々は晴天時は女川等でゆっくり寛いで頂き、
11:30に昼食場所へ案内。12:45には事務所入りを想定しています。



2日目：「森と人の相互性2～里の中で体感するレジリエンス～」9/29 一承

08:00 GreenSchoolYakushima事務所 集合

09:00 屋久杉ランド

- ・森と人の相互性とレジリエンス～自身の五感で捉える～
- ・天空の茶室

11:00 下山

12:00 昼食 やくどん

13:00 GreenSchoolYakushima事務所 レクチャーと対話：森と人の相互性とレジリエンス2

15:00 屋久島地杉加工センター 里の資源活用の在り様を学ぶ

16:30 移動

17:00 GreenSchoolYakushima事務所 対話：「commonsと地域コミュニティ」

18:00 解散 お宿へ送迎



3日目：「水の循環～森里川海のつながりを体感する～」9/30 -転

- 05:30 お宿発
- 06:10 日の出
- 06:30 大川の滝 朝食
- 08:00 移動
- 08:30 西部林道 アコウとガジュマルの森
- 10:30 移動
- 11:00 永田いなか浜 30min
- 12:00 一湊食堂
- 13:00 丸勝水産 循環型資源利用を学ぶ
- 15:00 GreenSchoolYakushima事務所 SDGs協働ワークショップ1 「木を見て森も見る」
- 18:00 移動
- 18:30 食事会

4日目：「つながりの再生、日常を振り返り、明日へ」10/1 -結

05:30 お宿発

06:00 クリスタル岬 朝食

06:10 日の出

07:30 GreenSchoolYakushima事務所 SDGs協働ワークショップ2「隙間デザイン」

10:30 移動

11:00 女川 天空の茶室

12:00 解散

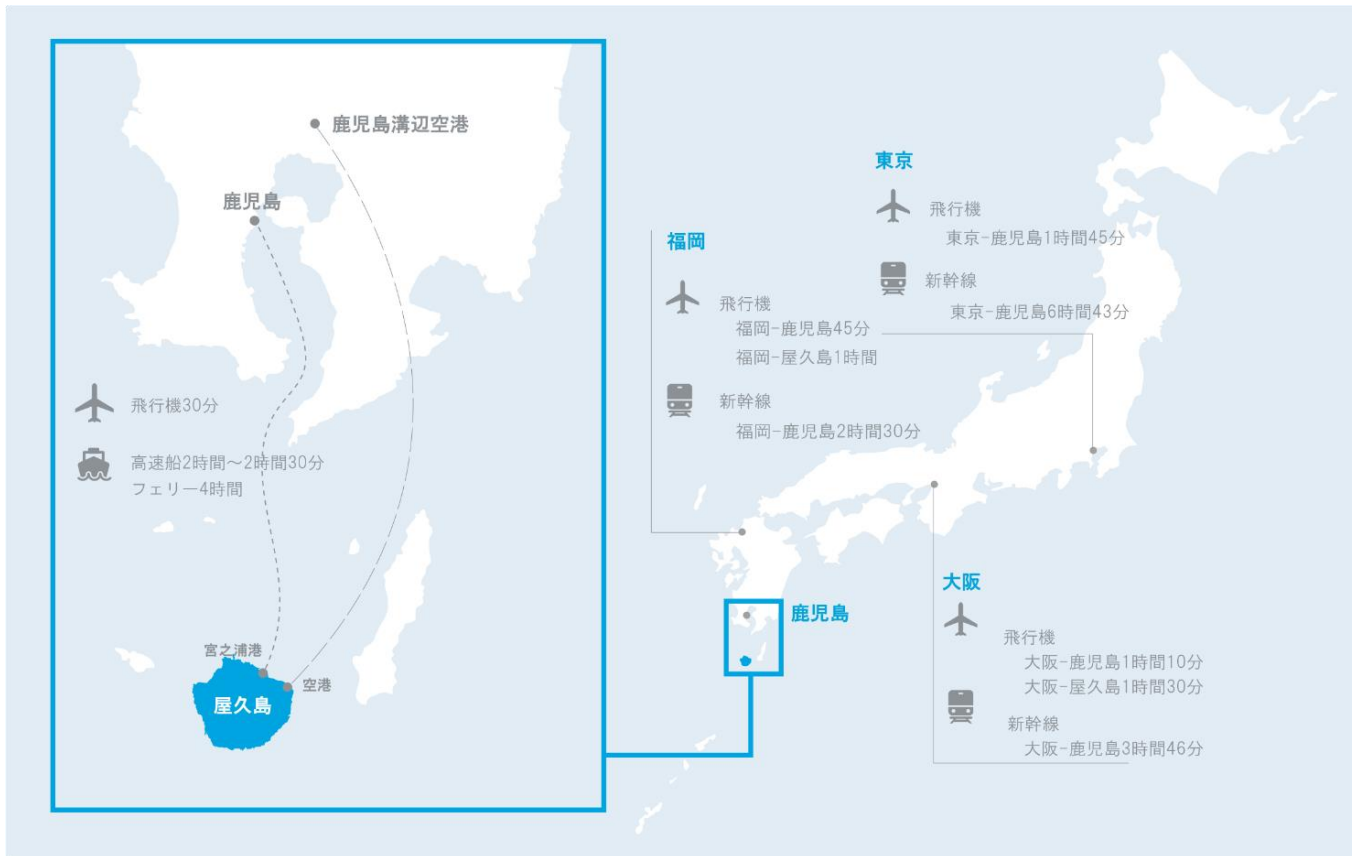


○装備について

雨具、登山靴、ザック、Tシャツ、長袖シャツ、ズボン（ジーパン不可）、
防寒着、帽子、手拭い、タオル、ゴミ袋、折りたたみ傘、トイレトーパー、
常備薬、保険証、内服薬 風邪、腹痛、下痢、生理、腰痛などの鎮痛薬

9月の平均気温は25℃です。最低気温が22℃、最高気温が28℃となります。

ただ山間部は標高100mにつき0.65℃下がります。標高1000mで-6.5℃となりますので
山間部と朝晩様に薄手のフリースもお持ちください。



○渡航について

渡航は参加者各自でのご手配となります。

早割等をご利用される際にはお早めにご予約下さい。

尚、鹿児島から屋久島の飛行機が小型のプロペラ機となりますので空席がない場合には以下の高速船の移動となります。

鹿児島空港⇒天文館（シャトルバス 50分）

天文館⇒南ふ頭（タクシー 5分）

南ふ頭⇒屋久島（高速船 2時間～2時間30分）



GLOBAL COMMUNITY
RESILIENCE CENTER



Green
School
Yakushima